



# 九月(小) 長月 危宿

九月七日白露の節より  
月命己酉一白水星の月  
暗剣殺北の方

旧七月小  
八月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦六輝	中段	共宿	下段	日出	月出	満潮	干潮	
1日	金	かのと	三碧	関東大震災記念日、防災の日、不成就日	十一	大安	あやぶ	亢	神よし	5.13	18.09	14.44	20.04
2日	土	みづのえ	二黒	富山八尾風の盆(1日、3日)	十二	赤口	なる	氏	百事吉	5.14	18.07	15.31	21.00
3日	日	みづのと	み	天一上	十三	先勝	おさん	房	大くわ	5.14	18.06	16.14	21.00
4日	月	きのえ	九紫	敦賀氣比神宮祭	十四	友引	ひらく	心	神よし	5.15	18.05	16.14	21.00
5日	火	きのえ	八白	旧ぼん	十五	先負	とづ	尾	大みやう	5.16	18.03	16.55	22.19
6日	水	ひのえ	七赤	望一六時〇三分	十六	佛滅	たつ	箕		5.17	18.02	17.34	22.54
7日	木	ひのと	六白	白露一九時三九分	十七	大安	たつ	斗	天火	5.17	18.00	18.46	23.27
8日	金	つちのえ	五黄	太田香童開山忌	十八	赤口	のぞく	牛	母倉	5.18	17.59	19.21	24.15
9日	土	つちのと	四緑	重陽、多賀大社九月古例祭、救急の日、不成就日	十九	先勝	みつ	女	ちう日	5.19	17.57	19.57	25.02
10日	日	かのえ	三碧		廿	友引	たい	虚	月とく	5.20	17.56	20.36	25.47
11日	月	かのと	二黒	二百二十日、東京芝大神宮しやうが市(21日迄)	廿一	先負	さだん	危	母倉	5.20	17.55	21.17	26.33
12日	火	みづのえ	一白	福岡宮崎官放生会(18日迄)、三隣亡	廿二	佛滅	とる	室	大みやう	5.21	17.53	22.04	27.19
13日	水	みづのと	九紫	下弦一五時二五分、世界の法の日、一粒万倍日	廿三	大安	やぶる	壁		5.22	17.52	22.55	28.06
14日	木	きのえ	八白	旧地藏ぼん	廿四	赤口	あやぶ	奎	大みやう	5.23	17.50	23.19	28.51

残暑はまだまだ厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼意を感じよう。この季節、夏場の疲れが表面化したか、暑さのために消化器系統が弱っていたり、とかく健康を害しやすいため、健康管理に十分に留意しないと、思わぬ重病になることがある。

また立春から数えた「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表していて、注意を喚起するようにしたわが国独特の呼称である。

九月九日は五節句の最後、「重陽(九)という数字を陽数とした陰陽術による)の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝うならわしも伝えられている。

【婚】この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それでは

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦六輝	中段	共宿	下段	日出	月出	満潮	干潮	
15日	金	きのと	七赤	老人の日、老人週間(21日迄)、京都石清水八幡宮祭	廿五	先勝	なる	婁	十し	5.23	17.49	14.17	19.24
16日	土	ひのえ	六白	鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ	廿六	友引	おさん	胃	大みやう	5.24	17.47	15.09	20.42
17日	日	ひのと	五黄	不成就日	廿七	先負	ひらく	昴	●	5.25	17.46	15.56	21.30
18日	月	つちのえ	四緑	敬老の日、社日、天しや、一粒万倍日	廿八	佛滅	とづ	畢	よろづ	5.26	17.44	16.39	22.10
19日	火	つちのと	三碧	岩手水沢駒形祭、子規忌	廿九	大安	たつ	觜	大みやう	5.27	17.43	17.17	22.45
20日	水	かのえ	二黒	朔一四時三〇分、彼岸入り、旧八朔、神奈川寒川神社例祭、空の日、旧八月大	朔	友引	のぞく	参	百事吉	5.27	17.41	17.52	23.19
21日	木	かのと	一白	秋の全国交通安全運動(30日迄)、二日灸、不成就日	二	先負	みつ	井	大みやう	5.28	17.40	18.26	23.52
22日	金	みづのえ	九紫	動物愛護週間(20日、26日)、八せん始め	三	佛滅	たい	鬼	天おん	5.29	17.38	19.00	24.27
23日	土	みづのと	八白	秋分の日、秋分五時〇二分、彼岸中日、川柳忌	四	大安	さだん	柳	天おん	5.29	17.37	19.34	25.02
24日	日	きのえ	七赤	結核予防週間、三隣亡	五	赤口	とる	星	きこ	5.30	17.36	20.09	25.77
25日	月	きのと	六白	一粒万倍日	六	先勝	やぶる	張	くゑ日	5.31	17.34	20.46	26.52
26日	火	ひのえ	五黄	彼岸明け、和歌山日前・国懸祭	七	友引	あやぶ	翼	大みやう	5.32	17.33	21.26	27.27
27日	水	ひのと	四緑	小田原道了尊大祭	八	先負	なる	軫	大みやう	5.32	17.31	22.09	28.02
28日	木	つちのえ	三碧	上弦一十一時五四分	九	佛滅	おさん	角	めつもん	5.33	17.30	22.55	28.77
29日	金	つちのと	二黒	曹洞宗両祖忌、不成就日	十	大安	ひらく	亢	●	5.34	17.28	23.46	29.52
30日	土	かのえ	一白	庚申、一粒万倍日	十一	赤口	とづ	氏	大みやう	5.35	17.27	24.31	30.27

くても心労が重なった直後だけに、ハードなスケジュールは極力避け、一生の思い出にぜひ心楽しい旅行を持ちたいものである。

【葬】彼岸入りから彼岸明けまでの「秋分の日」を中心とした七日間が秋のお彼岸である。先祖に感謝し精霊の供養や墓前の香華の手向け等を行う。暑さ寒さも彼岸まで、暑さの時もまず越えたものといえよう。

【祭】九月一日は「防災の日」これは大正十二年のこの日関東一円を襲った大地震によって、未曾有(みぞう)の災害が出たために、に定められた日である。

この月の下旬、旧暦八月十五日は「十五夜の望月」というのは、七月を初秋、八月を仲秋、九月を晩秋といい、その八月の十五夜が満月だからである。

【敬老の日】九月第三月曜日(平成十五年施工)。社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日。また十五日が「老人の日」、十五日から二十一日までは老人週間(平成十四年施工)である。